

一般質問(9/11)

【障害のある人の健幸について】

金子は、障害のある人やその家族から障害について相談を受けます。障害のある人は、学校卒業後、健康について情報を得たり、運動したり、健康診断を受ける機会が少ない状況です。そこで、飯塚市の障害のある人の健幸について、質問しました。

【金子】市は健康づくり計画に沿った事業実施している。障害のある人の施策は何か？

【部長】令和4年度の特定健診の受診者数は7497人のうち、障害のある人は378人、若年者健診では557人のうち16人だった。健康教育、健康相談の障害のある人の数は把握していない。

【金子】ある調査によると、知的障害のある人の健康診断未受診者が多い理由に、医師や検査に不安が高い、感覚が過敏で配慮が必要だが配慮してもらえない等挙げられている。障害の有無に関わらず健康について考える機会が得られるよう事業所等との連携を要望する。屋内運動施設での障害のある人が利用する際減免制度はあるか。

【部長】サンアビリティーズいづかは無料、健康の森公施設利用は、50%減の減免だ。

【金子】運動施設や文化施設についても統一した見解を要望する。障害のある人の運動教室をどう考えているか。

【部長】選択肢を増やす取組を進める必要があると考える。

知的障害のある人は、食事に偏りがあり、定期的に運動を行うことが苦手な人が多いこともあって肥満になりやすく、生活習慣病になる割合が高いらしいね



症状をきちんと訴えることが困難なケースもあって、適切なケアを受けられないまま病態が進行していることもあるんだ



障害のある人が、利用している通所サービスなどは健康診断が義務化されていないその結果、健康診断を受けていない人が多いのも問題を深刻にしているよね



障害のある人が健診を受けたり、相談を受けたりする場があると、障害のある人が健幸に飯塚市で暮らせるよね



かねこの考え

飯塚市は、「すべての人が健康で、いきいきと笑顔で暮らせるまち」を目指しています。障害のある人に対して、健康教室や健康診断などの事業に、合理的配慮の視点で実施する必要があります。



障害のある人の自立と政治参加をすすめたい！

金子は、今年度から「障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク」に参加しています。1996年に結成され、車いすユーザーや、盲、ろうの議員や障害について問題意識を持っている議員です。7月25〜27日に大会があり、名古屋城や豊田市を視察しました。名古屋城の木造復元事業のバリアフリー化について障害のある人に対して差別発言があり、差別の根深さを感じました。豊田市は「地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」があり、総合政策課の職員が、「合理的配慮」は福祉課だけではなく、市全体で取り組まなければ進んでいかない」と話された事が印象的でした。

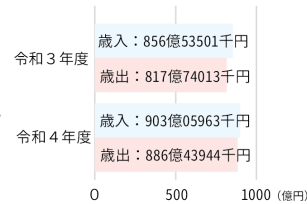


利用者にやさしい
コミュニケーション
支援ボード(豊田市)

決算特別委員会



令和4年度の決算規模は、ふるさと応援寄附金とその関連経費など、歳入歳出とも前年度より増加していました。



金子は、以下の項目を含めて22項目質問し、要望をしました。

- ・青少年対策費 児童クラブ運営費
長期休暇中の児童クラブを利用している子どもたちの昼食についてお弁当など検討すること



- ・児童福祉総務費 保育士確保対策事業費
保育士の配置基準を国の基準より、拡充すること

- ・障がい者福祉費 期間相談支援センター運営委託料
テコテコにて、ペアレントトレーニングなど取り入れること

- ・交流センター費 交流センター施設管理事業費
図書選定など市立図書館と連携すること

- ・障がい者福祉費 保育所等訪問支援給付費
インクルーシブ教育がすすむよう、保育所や事業所、保護者の理解を深めること

議員定数のあり方に関する調査特別委員会 (委員長 江口徹、副委員長 兼本芳雄)

6月議会にて「飯塚市議会議員の定数を28人から24人する」議案が提出されました。(提出者 道祖満議員、賛同者 佐藤清和議員、田中武春議員)
その後、議員全員が委員である「議員定数のあり方に関する調査特別委員会」が作られ、進め方について検討されました。



その結果、アンケート(無作為抽出)〔瀬戸・藤間・道祖議員〕・アドバイザーの設置〔金子・小幡議員〕が可決しました。
金子は、小幡議員と一緒に調査会議(学識経験者・市民団体推薦者・公募市民によるもので、市民会議・懇談会等実施)を提案しましたが、否決されました。最終的には、2024年6月を目途に審議され、採決される予定です。



福祉文教委員会



以下2つの請願が提出され、福祉文教委員会に付託されています。

- 請願1号 「伊川の郷」ラジウム温泉風呂の早期再開を求める請願
- 請願2号 子育て支援の充実(保育料無償化)を求める請願



第2子以降3歳未満児の保育料の完全無償化の早期実現を求めるもの→どちらの請願も慎重に審査するために継続審査となりました。

子育て支援の充実のため、高校生までの子ども医療費無償化の早期実現を求める請願も提出され、協働環境委員会に付託され、継続審査となっています。